

# 「行方市の日」初の開催



© 株式会社アートルズFC

## ホームタウンフェイズ

# 9/10



憧れの選手に会えて喜ぶエスコートキッズ



日本太鼓を披露した麻生保育園児

鹿島アントラーズのホームタウンに今年4月から加入した当市は、9月10日、県立カシマサッカースタジアムで、ホームタウンフェイズ「行方市の日」を初めて開催し、サポーターに行方市をPRしました。

ホームタウンフェイズは、鹿嶋市など5市が持ち回りで開催し、イベントや特産品販売を通じて、サポーターにアピールする日です。首都圏から多数の来場客が訪れることから、宣伝効果が期待できる場となっています。



行方市の野菜をPRしました

開催にあたり、坂本市長は「5市で、これまで以上に鹿島アントラーズを盛り上げていきたい。本日は、ご来場の皆様に、新鮮な行方市の野菜をお配りするのをご賞味ください」とあいさつ。

特産品販売では、商工会によるワカサギやカワエビのから揚げや漬物などの販売が行われました。みず菜やサツマイモなどの無料配布には長い列ができるほどの大盛況でした。

パフォーマンスコーナーでは、麻生保育園児による



玉造西小学校児童らによるお囃子

日本太鼓の演奏、玉造西小学校児童らによるお囃子、北浦童太鼓、麻舞ソーラン会によるよさこいソーランなど、市内各グループが郷土芸能などを披露しました。

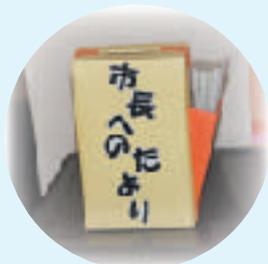
また、エスコートキッズに選ばれた市内の児童12名は、試合開始前に、アントラーズ選手と手をつなぎ一緒にピッチへと入場しました。

参加した児童からは「憧れのアレックス ミネイロ選手と握手できて、とても感動した。将来はサッカー選手になりたい」と話していました。



北浦童太鼓による勇壮な和太鼓

### 市長へのたより箱



麻生・北浦・玉造庁舎の窓口に「市長へのたより」箱を設置しました

市役所にて、お気づきの点をお聞かせください